

## フィリピン・セブ島 GATE プログラムへの 学生支援プログラム「シスマネα」を実施



システムマネジメント学科 2 年生 7 名（学科定員数：65 名）が、フィリピン・セブ島の語学学校である Brighture English Academy（以下、ブライチャーと略称）にて開催した GATE プログラムへの学生支援プログラム「シスマネα」に参加しました。

### シスマネαの目的とはなにか？：グローバル教育を「経験」から「学修」のフェーズへと移行させる

システムマネジメント学科では、2016 年度より教育改革に着手、その中で「グローバル化」強化に向けて外国人招聘講師による特別講義（1 年生～3 年生）、2018 年度には米国・St. Mary's College と協働でグローバル PBL（3 年生）を行ってきました。いずれの取組みでも学生の「英語スキル」に対する気づきは多く、本学・国際戦略室により提供されている English Café 等の課外活動へと繋がる学生は徐々に増えつつあります。こうした取組みは現フェーズでは「経験」を重視したものとなっていますが、昨今のアジア情勢や情報技術革新のスピードなどを考えると、今後の大学における教育質向上の展開において「学修」という次フェーズへの移行が必須といえます。その際の課題は、(i) グローバル環境を理解する力・姿勢、異文化や異なる状況を楽しむ姿勢、他者との信頼関係を築くスキルといったグローバルマインドセットを構成するカテゴリーをどう教育するか、(ii) 自分の考えを伝える・他者の考えを聞くといった基本的な英語スキルをどう獲得させるか、という 2 点あります。本学・国際戦略室が主催する GATE プログラムでは、フィリピン・セブ島の語学学校「ブライチャー」の協力のもと、これらの課題を解決する礎となりえる内容が用意されています。「シスマネα」ではそのような GATE プログラムへの参加費一部を支援しています（GPA や英語力の条件等あり）。本プログラムを通して「グローバル化」という軸で教育の質向上を実現すると同時に、プログラム終了後には参加学生を特別講義やグローバルプログラムにおけるクラスサポーターやステューデント・アシスタントへと採用することで、下級生にも好影響を及ぼす縦ラインのサイクルをまわり、「経験」に重きをおいたグローバル教育の現フェーズを「学修」のフェーズへと移行させる布石とする、ことを目的としています。

### 参加学生の声：システムマネジメント学科 2 年 桐原めぐみさん（福岡県立新宮高等学校出身）

結論から言うと、このプログラムに参加してとても良かったです。私は大学入試の時など、英語が最も苦手な教科でしたが、このチャンスを機に克服したいと思い参加しました。Brighture では先生とマンツーマンで自分に合わせたペースで英語を学習することができます。だからといって楽をして学べるとは言いません。2 週間英語漬けの毎日ですが、やればやるほど自分の成長が実感でき、これからの英語の勉強に対する活力になりました。システムマネジメント学科であるからこそ与えられた良いチャンスです。英語が得意で好きで、もっと伸ばしたいと思っている人はもちろん、苦手な人でも少しでも英語に触れてみたいと感じているのであれば、最初から苦手だからと諦めずに挑戦してみてください！やることに意味があります！



（システムマネジメント学科）